

## 地域ぐるみで薬物乱用を防止！

### 薬物乱用防止講演会

12月6日、白石益岡ライオンズクラブ(高橋恵美子会長)主催の「薬物乱用防止講演会」が中央公民館で開催されました。この日は、講師の富岡和弘さんが参加者約100人を前に、薬物乱用の現状と学校における防止教育について説明。「薬物乱用の恐ろしさを理解し、地域ぐるみで乱用を防止しましょう」と呼び掛けました。この講演は、若い世代に薬物に対する理解を深めてもらおうと、同クラブが平成19年から小中学校や高校で開催し、これまで約3,000人が受講。学校以外での開催は初となり、参加者は熱心に聞き入っていました。



▲薬物乱用の現状を話す富岡さん

## みんなで仲良く！ 楽しく遊んでね

### 市内8カ所の保育園にクリスマスプレゼント

12月20日、NECインフロンティア東北株式会社の岡本博人取締役工場長などが、市内8カ所の保育園におもちゃや絵本などのクリスマスプレゼントを届けてほしいと南保育園を訪れました。贈呈式では、岡本工場長から園児の代表に、「みんなで仲良く、楽しく遊んでください」とおもちゃなどが手渡され、4・5歳児約40人が感謝の気持ちを込めて楽器の演奏に合わせ歌を披露しました。同社は平成19年から、従業員やその家族が集めたアルミ缶の売買取益を活用し、市内の保育園にクリスマスプレゼントを贈り続けています。



▲岡本工場長(後列)からおもちゃを受け取る園児たち

## 粘り強く取り組んで「合格」をつかみ取って！

### 白石高校PTA主催 合格祈願 力餅

12月21日、受験生の合格を祈願した餅つきと「力餅」の配布が白石高校で行われました。白石高校PTA(桂山信幸会長)が主催したこの催しは、これからの受験に「餅」のように粘り強く取り組み、合格をつかみ取ってほしいという思いを込めて実施されました。生徒たちは厳しい冷え込みにも負けず、合格を願い元気に餅つき。生徒がついた餅は、「桜咲く」の願いを込めて桜色に染められ、全校生徒に配られました。

おいしい餅を食べて、おなかも心も満たされた受験生。合格目指して頑張ってください！



▲合格を願い餅つきをする生徒

## おばあちゃん100歳おめでとう！

### 菊地モトさんに祝詞と松竹梅敬老祝金を贈呈

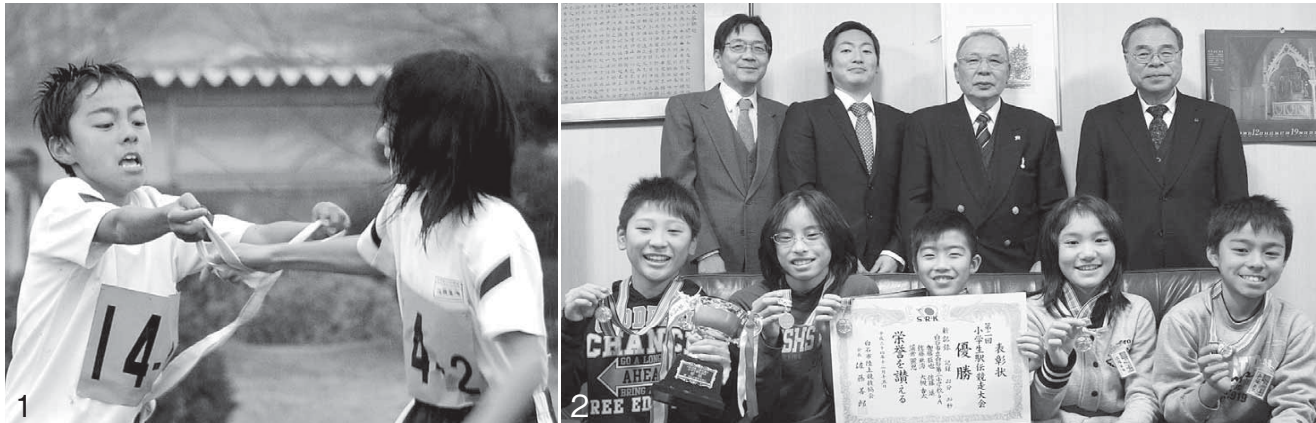
1月4日、満100歳を迎えた菊地モトさんを風間市長が訪ね、祝詞と松竹梅敬老祝金を贈り長寿を祝福しました。モトさんは北海道のご出身で、結婚後は缶詰工場などに勤めながら3人の子どもを育て、現在は孫が9人、ひ孫が2人います。現在はさくらの杜(大河原町)に入所中のモトさん。この日は、ご家族のほか入所者や施設職員も集まりみんなでお祝いしました。「長寿の秘訣は何でも食べることに運動」というモトさん。ひ孫から「おめでとう」と声を掛けられると、モトさんは照れくさそうににっこりとほほえみ返していました。



▲祝詞を手にほほえむモトさん

## 仲間の思いをタスキでつなぐ

### 第2回小学生駅伝競走大会



12月15日、「第2回小学生駅伝競走大会」が白石川緑地公園陸上競技場周辺で開催されました。大会には、各小学校代表の1チーム5人(男子3人以内、女子2人以上)で編成された24チームが参加。悪天候の中、1区2,100m、2～4区各1,400m、5区2,200mの区間を全力でタスキをつなぎました。優勝は、白石第二小学校「白石二6A」がスタートから順位を落とすことなくタスキをつなぎ大会新記録を樹立。雨のため表彰式が中止となり、12月21日、武田教育長から教育長杯や賞状、メダルが手渡され、選手たちは喜びを分かち合っていました。



1. 2位に大差を付け次の走者にタスキを手渡す「白石二6A」の加藤辰也くん(左)
2. 大会新記録で優勝した「白石二6A」。前列左から大槻香太くん、佐藤遥さん、蒲倉麗恩くん、佐藤亜海さん、加藤辰也くん
3. 仲間の思いを感じながらタスキをつなぐ選手たち

## サンタさんがやってきたあ！

### ふれあいプラザクリスマス会



▲サンタさんの登場に目を輝かせる子どもたち

12月19日、ファミリーサポートセンターと子育て支援センター共催の「クリスマス会」をふれあいプラザで開催しました。会場には、一足早いクリスマスを楽しみに約100人が参加。子どもたちは手遊びをしたり、クリスマスにちなんだ歌を歌ったりしたほか、サンタさんから手作りおもちゃをプレゼントされるなど、楽しい時間を過ごしました。この催しでは、子育ての支援をしたいと日ごろから活動している方々が、会の進行や絵本の読み聞かせ、ハンドベル演奏などを担当。地域の皆さんの「力」が子どもたちの笑顔につながっています。

## 子どもたちが昔ながらの餅つきに挑戦！

### 第一児童館で「お楽しみ餅つき会」



▲一足早いお正月気分を味わった子どもたち

12月26日、放課後児童クラブを利用する約80人が参加した「お楽しみ餅つき会」が、第一児童館で開催されました。「昔ながらの餅つきを体験するとともに、白石地方に伝わる雑煮を味わってほしい」と始まった餅つき会も、今年で4年目。子どもたちは、親の会やヘルスメイト白石、(株)ダイナムのボランティアの皆さんに教えられながら、昔ながらのきねと臼を使って餅つきに挑戦。つきたての餅は、早速、雑煮ときな粉餅にして振る舞われ、子どもたちは1年の出来事を振り返りながら、一足早い正月気分を味わいました。